

科目名	リハビリテーション基礎理論				単位数	2	時間数	30	
授業形態	講義	対象学年	OT/PT3年	学期	前期	教員実務経験	有	使用教室	205・206教室
授業概要	3年後期に行われる臨床実習(評価実習)では検査測定実施に加え関連他部門からの情報やカルテ情報の収集により患者様の全体像をとらえる過程を学習する。そこで本講座では、リハビリテーション医療に携わる者に必要な関連情報(画像や臨床検査値等)の見方や解釈について学ぶ。								
一般目標	・内科領域に関わる画像や検査の見方や解釈に関する知識を修得する。・中枢神経領域のCT、MRI検査に関する知識を修得する。・骨・関節領域の画像検査(主にMRI)について知識を修得する。・主要な臨床検査について、検査を実施する目的と異常値と関連する病態を理解する知識を習得する。・臓器別に主要な疾患については具体的な病名を示し、診断に必要な検査を判断し、検査学的な異常を評価できる知識を習得する。								
テキスト 参考書等	随時、プリントを配布								

到達目標		
知識(認知領域) ・授業で取り上げた画像や検査の見方や解釈について説明できる。 ・授業で解説した臓器別疾患について診断に必要な検査を説明できる。		
技術(精神運動領域) ・なし		
態度(情意領域) ・授業時間内に十分な理解が得られなかった場合は自分で知識の取得に努める		
回数	授業内容	授業目標
1	内科領域のレントゲン	内科領域のレントゲンについて簡潔に説明できる。
2	内科領域のCT・MRI	内科領域のCT・MRIについて簡潔に説明できる。
3	内科領域のエコー・血管造影	内科領域のエコー・血管造影について簡潔に説明できる。
4	心電図	心電図について簡潔に説明できる。
5	内科領域の内視鏡 まとめ	内科領域の内視鏡について簡潔に説明できる。 内科領域に関わる画像や検査の見方や解釈に関する知識を修得する。
6	頭部画像(CT・MRI等)の見方	頭部画像(CT、MRI)の判読ポイントを説明できる。 断層画像(CT、MRI)で脳解剖や血管解剖について説明できる。
7	代表的な頭部疾患画像の見方	脳梗塞や出血、脳腫瘍など、代表的な疾患の画像(CT、MRI)所見を説明できる。
8	骨関節画像の見方	骨関節画像(X線・CT・MRI)での解剖、判読ポイントについて説明できる 代表的骨関節疾患の画像所見を説明できる。
9	1. 現代医療における臨床検査の役割 2. 血液学的検査	・臨床検査の種類と役割を説明できる ・血液細胞の形態と機能を説明できる ・貧血の検査を解説できる
10	1. 血小板・凝固・線溶機構 2. 血液化学検査(肝機能検査)	・血小板・凝固・線溶機構を理解し、手術や処置前に必要な止血機能検査を説明できる ・肝臓の働きを理解し、肝機能検査を説明できる
11	1. 膵臓の働きと糖代謝 2. 腎臓の働きと検査 3. 肺機能と血液ガス分析	・膵臓における等代謝機能を理解し、糖尿病の検査を説明できる ・腎臓の働きを理解し、腎機能検査を説明できる ・血液ガス分析による酸塩基平衡異常の診断を説明できる
12	1. 後天性免疫不全症候群 2. アレルギーの発症機序・分類と検査 3. 自己抗体と自己免疫疾患 4. 腫瘍マーカー検査	・後天性免疫不全症候群の病態と検査値の異常を説明できる ・アレルギーの発症機序と分類を理解し、関連の検査を説明できる ・自己抗体と自己免疫疾患の関連を説明できる ・腫瘍マーカー検査について説明できる
13	1. 血液製剤の種類と保存条件 2. ABO式血液型と検査 3. Rh式血液型と検査	・血液製剤の種類と保存条件を説明できる ・ABO式血液型・Rh式血液型の検査を説明できる
14	脳画像診断の基礎知識	頭部画像の基本的な読影ポイントを説明できる
15	骨関節画像の基礎知識	骨関節画像の基本的な読影ポイントを説明できる

成績評価方法					
	知識(認知領域)	技術(精神運動領域)	態度(情意領域)	評価割合	成績評価基準
定期試験	○			100	優(3):80点以上
小テスト					良(2):70点以上
宿題授業外レポート					可(1):60点以上
授業態度					不可(0):60点未満 未修得
発表・作品					
演習					
出席					
担当教員	長谷亮佑、古川 又一、野島 順三		実務経験紹介	内科医として10年間、外来、検査を担当(長谷)	